

2021年 アルバイト採用ブランド力調査レポート



ツナグ働き方研究所

**Atsunori
Hiraga**

ツナグ
働き方
研究所

【調査方法】

- ・ 調査対象期間

2021/9/14~2021/9/28

- ・ 調査対象

業種を問わずパート・アルバイトとして
求職経験が2年以内にある求職者または現就業者

全国の16~69歳の男女 1,200名
(男性：600名・女性：600名)

- ・ 調査概要

ネットリサーチ会社を利用したインターネット調査

1 調査概要

2 採用力偏差値

3 採用ブランドランキング

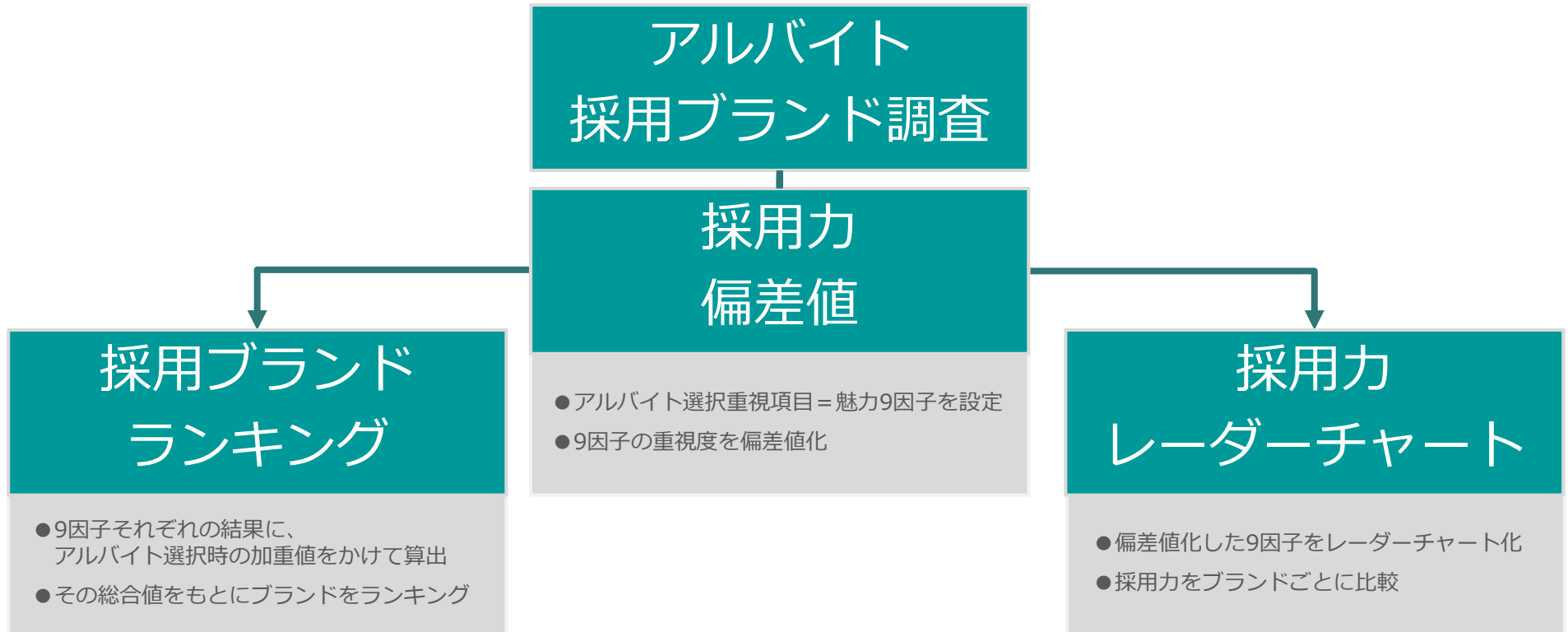
4 採用力レーダーチャートTOP5

5 採用力レーダーチャート比較

APPENDIX

調査概要／採用ブランド調査について

- アルバイトを選択する際に重視する9因子を抽出。アルバイト勤務先として代表的な50ブランドにおいて、その各因子について評価
- 評価ポイントの合計値が高いブランド＝人材調達力＝採用ブランド力が高いと認定し、総合ランキングと個社レーダーチャートを作成



補足) 選択重視項目 = 魅力因子×アルバイトブランド

■ アルバイトを選択する際に重視する項目 = 9つの魅力因子と、20の業界は下記のとおり

50ブランドの詳細は
APPENDIXに記載

9 因子	×	20 業界
【仕事/理想】 仕事内容に興味がある		100円均一 ピザ
【仕事/現実】 自分でも働くことができそう		スーパー うどん・そば
【成長】 自分の成長・キャリアに役立ちそう		コンビニ 丼もの
【時間】 希望の時間で働けそう		日用品・生活雑貨 中華
【場所】 通いやすい場所にある		ドラッグストア 回転ずし
【給与】 給与・待遇が良さそう		アパレル 宅配
【仲間】 スタッフと仲良くやっていけそう		レンタルショップ 物流・倉庫
【環境】 職場環境が良さそう		カフェ・喫茶 引越・配送
【安全】 安心して働けそう		ファストフード テーマパーク
		ファミレス 介護

■コロナ禍2年目、バイト探しの「安全」「近場」「短時間」重視は継続

- 最も重視度が高まったのは、やはり職場の【安全】。ここ数年1位だった【場所】を抜き、最重視項目へ
- 【時間】もトップ3入り。感染不安から長時間勤務を懸念し、時間を減らしたい声は昨年同様の傾向
- 一方で、コロナであまりシフトに入れなくなり、もっと働きたい派が増えたことで、重視度を押し上げた

Point1 100円均一のダイソー、セリアがワンツーフィニッシュ

- 「100円均一業界」が1位2位を独占。昨今の出店数、マスメディアでの露出増も採用ブランド向上に寄与
- 一位のダイソーは、時間勤務のシフトも用意されていることからか、【時間】に対する評価が上がっている
- セリアは【仕事/現実】が1位。100円にこだわるシンプルな価格ラインナップが働きやすいイメージに直結

Point2 スターバックスコーヒーの復活

- スターバックスコーヒーが昨年13位から大躍進。超人気ブランドが復活を遂げた
- 郊外エリアの出店も多く、都心×意識高い系×若者イメージから、フレンドリーなイメージも獲得しつつある
- 調査時期を鑑みると、ドレスコードをやや自由化した改定によるイメージ効果は限定的

Point3 昨年順位をあげたコンビニエンスストアは相対的に後退

- 他小売業と比較し、今年度最も重視度が高かった【安全】の評価が、さらに低下。これが順位後退の主要因
- 昨年、緊急事態宣言下の買い占め報道で働くリスクを感じたスーパー、ドラッグストアは逆にイメージ回復
- 「クーポン」「ポイント」「モバイル決済」など、レジ業務の複雑化を指摘する声が再燃

- 1 調査概要
 - 2 採用力偏差値**
 - 3 採用ブランドランキング
 - 4 採用力レーダーチャートTOP5
 - 5 採用力レーダーチャート比較
- APPENDIX

アルバイト選択重視項目と9つの魅力因子

- アルバイトを選択する際に重視する9つの因子において、優先度が高いトップ3は【安全】 【場所】 【時間】
- コロナ禍の影響もあってか、【安全】が【場所】を逆転しトップに。また【時間】が【仕事/現実】を逆転し3位に
- 昨年と比較すると、全体的にスコアが低めに出ている。アルバイトを探すうえでのこだわりが相対的に薄れている印象を受ける

順位	因子	2021年 重視度	2020年 重視度	順位
1位	【安全】 安心して働けそう	81.8 %	83.0 %	↑
2位	【場所】 通いやすい場所にある	81.3 %	83.5 %	↓
3位	【時間】 希望の時間で働けそう	79.7 %	82.7 %	↑
4位	【仕事/現実】 自分でも働くことができそう	79.0 %	82.9 %	↓
5位	【環境】 職場環境が良さそう	78.4 %	81.2 %	→
6位	【給与】 給与・待遇が良さそう	77.1 %	78.3 %	→
7位	【仲間】 スタッフと仲良くやっていけそう	71.8 %	75.0 %	→
8位	【仕事/理想】 仕事内容に興味がある	70.4 %	72.0 %	→
9位	【成長】 自分の成長・キャリアに役立ちそう	52.3 %	53.5 %	→

1 調査概要

2 採用力偏差値

3 **採用ブランドランキング**

4 採用力レーダーチャート/TOP5

5 採用力レーダーチャート/CVS

APPENDIX

採用ブランドランキング ①業界ランキング

- ランキング1位は、3年連続で100円均一。昨今の出店数、マスメディアでの露出増もあり、より一層メジャー感が増した模様
- 小売業界の人気には安定感があり、スーパー、コンビニ、ドラッグストアまでが4強となった。またカフェの人気が復調気味

2021	前年比較	業界	2020	2021	前年比較	業界	2020
1	→	100均一	1	11	→	レンタルショップ	11
2	↑	スーパー	7	12	↑	回転ずし	13
3	→	コンビニ	3	13	↑	うどん・そば	14
4	↑	ドラッグストア	9	14	-	丼もの	NEW
5	↑	カフェ・喫茶	10	15	↑	中華	16
6	→	アパレル	6	16	↑	引越・配送	18
7	↑	ファストフード	8	17	-	物流・倉庫	NEW
8	↓	日用品・生活雑貨	4	18	-	介護	NEW
9	↓	テーマパーク	2	19	↓	ピザ	17
10	↑	ファミレス	12	20	→	宅配	20

採用ブランドランキング ①ブランドランキング（～20位）

- ランキング 1 位はダイソー。昨年7位のセリアも 2 位となり、100円均一がワンツーフイニッシュを飾った
- スターバックスコーヒーが3年ぶりにトップ10内に帰り咲いた。
- コンビニの 3 大ブランドで、トップ10圏内をキープしたのはセブン-イレブンのみ。他ブランドはやや順位を下げる結果となった

2021	前年 比較	業界	2020	2021	前年 比較	業界	2020
1	→	ダイソー	1	11	↓	ファミリーマート	9
2	↑	セリア	7	12	-	ウエルシア	NEW
3	↓	無印良品	2	13	↓	ローソン	8
4	↑	イオン	5	14	↑	クスリのアオキ	15
5	↑	スターバックス コーヒー	13	15	↓	ユニクロ	6
6	↑	カルディコーヒーファーム	12	16	↑	マツモトキヨシ	23
7	↑	マクドナルド	10	17	↓	GU（ジーユー）	16
8	↓	セブン-イレブン	4	18	↓	東京ディズニーリゾート	3
9	↑	ニトリ	11	19	↑	サイゼリヤ	26
10	↑	DEAN & DELUCA	28	20	↓	ユニバーサル・スタジオ・ ジャパン（USJ）	14

採用カレンダーチャート・1位：ダイソー

- 総合1位。昨年から2年連続。
- 今年、もっとも重視度が高かった【安全】で4位と高評価。また【仕事/現実】のストロングポイントでの評価もあり2位を堅持
- セリアに比べ短時間勤務のシフトも用意されていることからか、【時間】に対する評価も上がっている

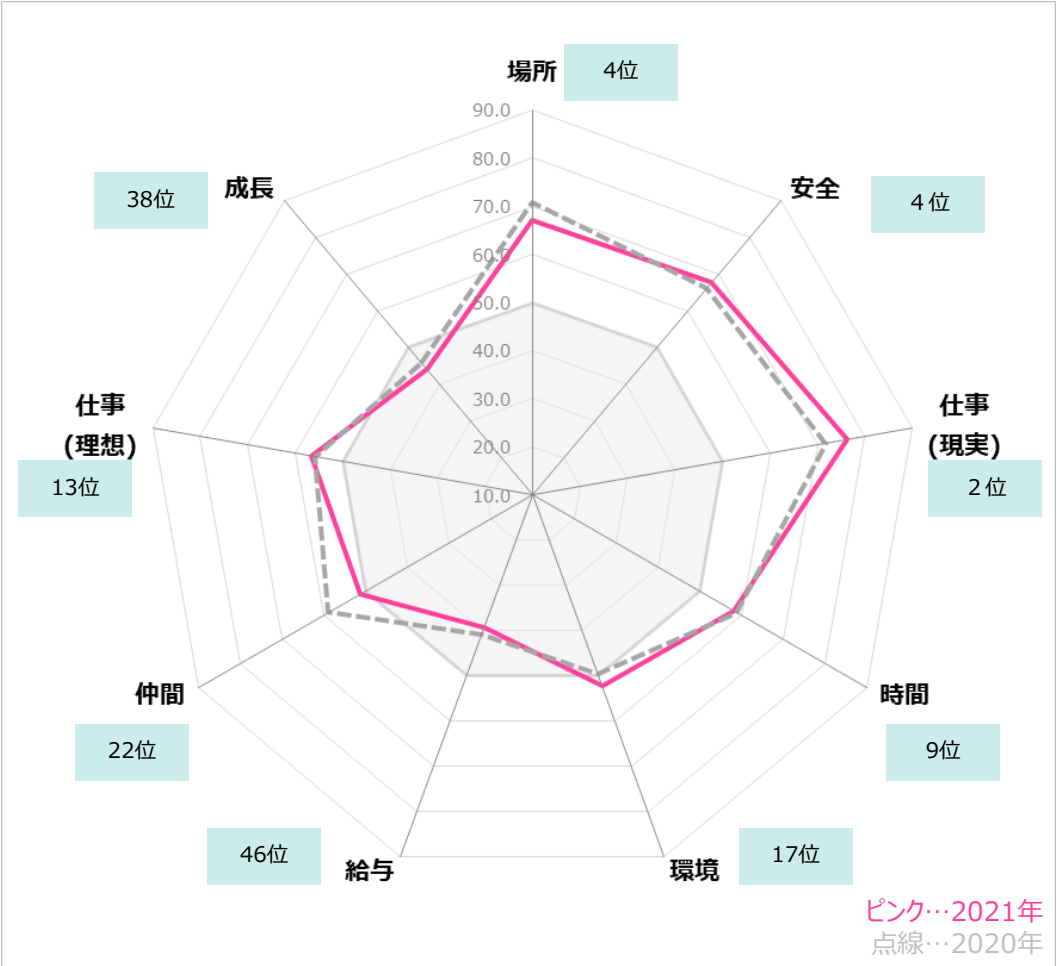
【総合得点】

983.0 pt

【全体順位】1位（昨年1位）

【50企業平均】787.2 pt

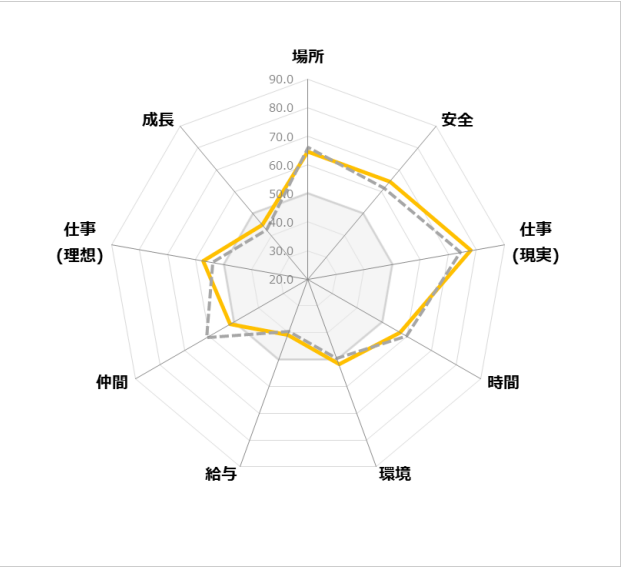
項目名	要素	偏差値	
		2021	2020
通いやすい場所にある	場所	67.1	70.9
安心して働けそう	安全	67.7	66.1
自分でも働くことができそう	仕事現実	76.3	71.6
希望の時間で働けそう	時間	58.2	58.9
職場環境が良さそう	環境	52.2	49.4
給与・待遇が良さそう	給与	39.3	41.0
スタッフと仲良くやっていけそう	仲間	51.3	58.9
仕事内容に興味がある	仕事理想	56.5	55.8
自分の成長・キャリアに役立ちそう	成長	44.1	45.9



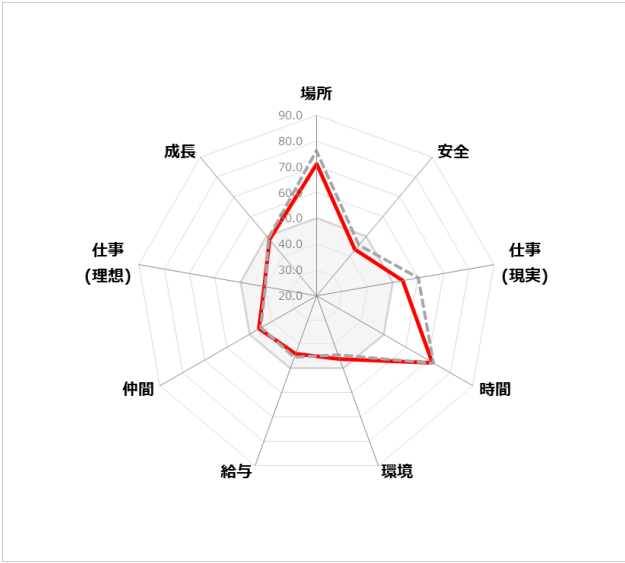
採用力レーダーチャート・小売業界比較（業界ごと前年比）

※破線…2020年

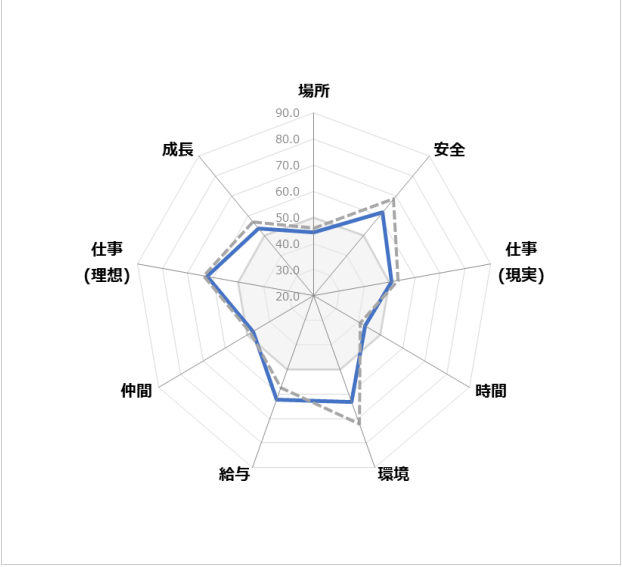
100円均一



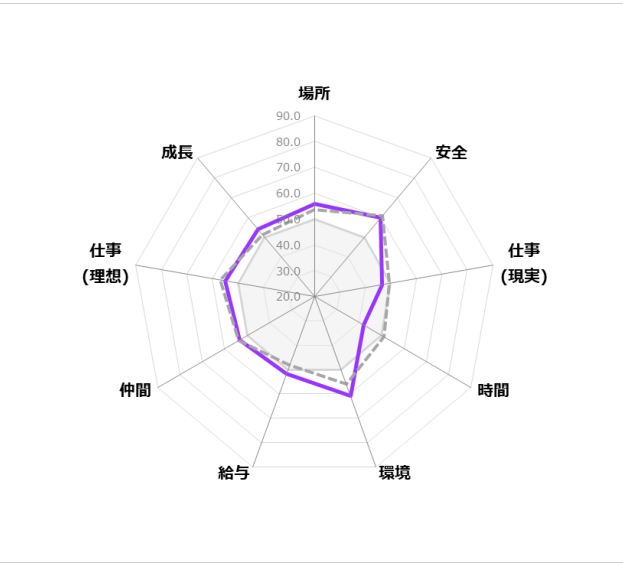
コンビニ



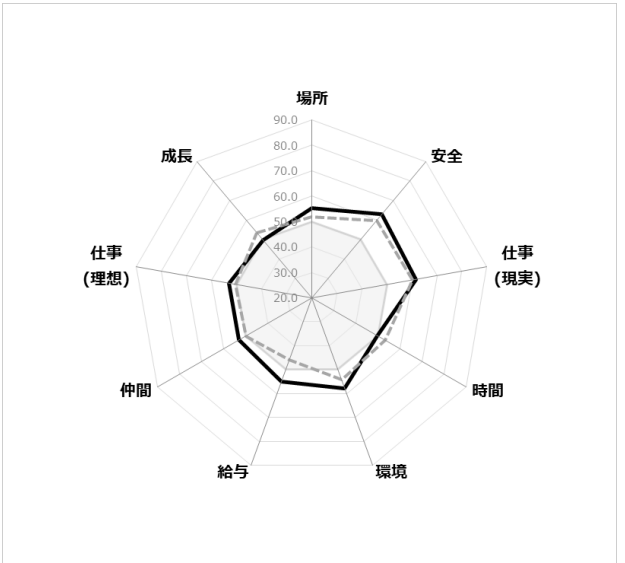
日用品・生活雑貨



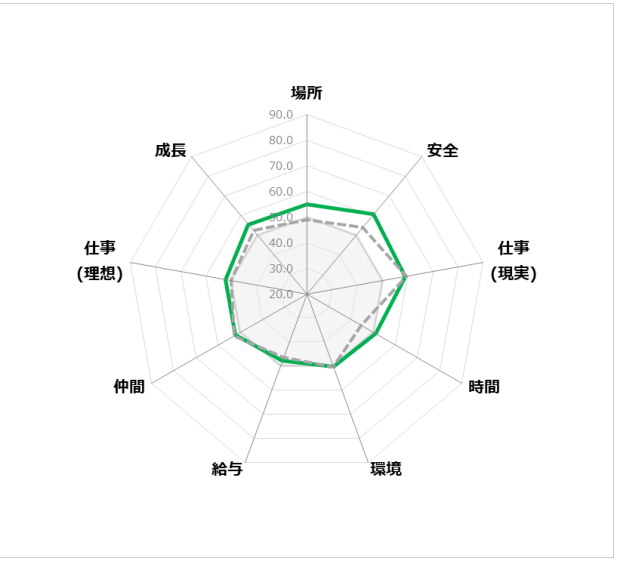
アパレル



スーパー



ドラッグストア





全 体 監 修 : 平賀 充記
調査・レポート : 和田 紗香

© 2021 TSUNAGU GROUP HOLDINGS Inc.
ツナグ働き方研究所

